

株式会社キングジムにおける デザイン保護の取り組み

株式会社キングジム 総務部 知的財産課長 日根洋一

1 株式会社キングジムについて

当社は1927年に創業者の宮本栄太郎が「人名簿」、「印鑑簿」を発売したことに始まり、今年（2020年）で創業94年目になります。

「人名簿」は、材木商を営んでいた創業者宮本栄太郎が、顧客管理に使っていた手書きの住所録では分類し直したり順番を変更することが難しいことから、葉書などに印刷されている差出人の表記がほぼ同じ大きさであることに着目して、これを「切り抜いて差し込むだけ」で名簿とすることができるファイルを考案したものです【写真1】。

1947年には、現在につながるルーズリーフ、バインダーなどのファイル類の製造、発売を開始して、1948年に「株式会社名鑑堂」を設立し、1961年に社名を「株式会社キングジム」に改称して現在に至っています。

●写真1 当社創業時の製品



人名簿



初期のファイル

2 当社の商品開発

ペーパーレス化の進展により、ファイル類の売上はピーク時に比べるとかなり減少していますが、オフィス環境を改善する商品を中心として、独創的な商品を開発して新しい市場を開拓することで、それをカバーする多くの商品を提供してきました。

この方向性を示すものとして、いくつかのメディアにも紹介された現社長宮本彰の言葉があります。「ファーストペンギンになれ」

「9回三振でもいいから、10回目にホームランを」

これは、世の中になかった商品を作り出して市場を生み出すには、勇気を出して最初に飛び込まなければならない。チャレンジの多くは、必ずしも成功するものではないが、常に失敗を恐れず開発に当たり、失敗から得る教訓も蓄積してホームランにつながれば良いので、新事業に挑戦しよう。

という意識を表していますが、事務用品の分野にかかわらず欲しい商品の開発に当たり売り出した最近の例として、アルコールディスペンサー「tette」（テッテ）があります【図1】。

新型コロナウイルスの兆しもない数年前に開発を始めて、手をかざすとセンサーが感知して消毒液が噴射する自動手指消毒器「tette」を、2019年2月に発売しました。

「tette」は、デザインも、思わず手をかざしたくなるような柔らかなフォルム、さまざまな空間に馴染む心地よいデザインにこだわっており、2018年12月に意匠登録出願をして2019年8月に意匠登録されました。また、世界の工業製品等を対象としたiFデザイン賞を2020年に受賞しています。